

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
小学校	和歌山市立紀伊小学校	中野利章
学校所在地		
〒 649-6339 和歌山市弘西321番地 tel (073)461-0207 fax (073)461-0275 e-mail @		
担当者名		役職名・担当教科
馬場行誠 / 小松優子		教諭 ・ 教諭
<p><b>〔学校の概要〕</b></p> <p>本校は、JR紀伊駅から徒歩約15分の所にあり、学校のすぐ北側を県道が通っていて、車の交通量も多い。また、校舎からは高速道路や紀伊山地の山々がすぐ近くに見える。また、校区内には紀ノ川も流れていて、田や畑もたくさん残っていて、自然豊かでもある。そのため、本校の子どもたちは、生き物をよく学校へ持って来てみんなに紹介したりしている。</p> <p>本校の近くには、県立和歌山盲学校、県立紀伊コスモス支援学校と養護老人ホームがあり、「福祉ゾーン」の顔を持つ地域でもある。盲学校・支援学校とは、毎年児童だけでなく職員同士も交流を続けている。</p>		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
学年 6年生 52名	3名 職員 3名	本校コンピュータ室・図書室・田辺市本宮町
実践研究テーマ		
自分たちの住む郷土について深く知り、体験活動等を通して、その素晴らしさに気付く。		
実践教科等名	単元名	
総合的な学習の時間・社会科	世界遺産の素晴らしさについて、体験を通して学ぼう。	
〔キーワード〕 世界遺産体験学習 情報活用能力		
<p><b>〔単元目標〕</b> (1) 自分たちの住む和歌山県にも世界遺産に認定されている所があることを知ろう。  (2) 世界遺産や熊野古道について、調べ学習をしよう。  (3) 世界遺産について体験学習をし、学習を深めよう。  (4) 体験したことを世界遺産新聞にまとめ、交流しよう。</p>		
〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕		
全体	12 時間	（「世界遺産についてくわしく知ろう」 10時間 ）
〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕		
和歌山県世界遺産センター 世界遺産講座 次世代育成事業（現地学習） 和歌山県世界遺産マスター		

実践校に関する事項			
〔单元指導計画概要〕			
	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	世界遺産について知っていることを出し合う。(世界遺産とは?)	・世界遺産について知っていることを出し合い、和歌山県にも世界遺産に認定されている所があることを知らせる。	・発言 ・社会ファイル
2	世界遺産・熊野古道について調べ学習をしよう。	・世界遺産とは?熊野古道とは?の疑問をコンピュータで調べ、交流する。	・発言 ・社会ファイル
3	世界遺産の現地体験学習をしよう	・世界遺産についての説明を聞いたり、熊野古道歩きを体験したりすることを通して、学習を深める。	・発言 ・行動観察 ・社会ファイル
4	世界遺産新聞を作ろう	・世界遺産体験学習で学んだことや自分の思いを新聞にまとめ、交流しよう。	・新聞
5			
〔单元学習の成果と課題〕			
<p>・この学習を始める前、『世界遺産』という言葉を知っている子どもたちはある程度いたが、自分たちの身近にもあるものとしてとらえている子どもたちは少なかった。子どもたちにとっての「世界遺産」は外国にあるもの、日本にあっても自分たちの住む和歌山県にはないという認識のようであった。そのため、調べ学習やこの世界遺産体験学習を通して、「和歌山県にもあったんだ!」という驚きの声が聞かれた。新聞、図書館の本、インターネットなどで調べただけでなく、実際に世界中の世界遺産や世界遺産の抱える問題などについて話を聞かせていただいたり、世界遺産マスターの方の説明を聞きながら実際に熊野古道を歩いてみたりすることで、世界遺産を身近に感じ、世界遺産について考える貴重な体験をさせていただいたと思っています。この単元の学習から、指導者としても地域発掘の教材を見つけて取り組む必要があると実感した。</p>			
〔世界遺産学習の効果〕			
<p>・新聞や本インターネットで調べ学習をする機会ができる。</p> <p>・世界遺産について、自分たちが調べたこと、また、それ以上のことを映像も交えて詳しく教えていただけたので、理解が深まり、世界遺産について関心を持つきっかけにもなる。</p> <p>・実際に熊野古道を世界遺産マスターの方に説明して頂きながら歩くことによって、「ただ山の中を歩いた」というのではなく、「ここが世界遺産に認定されている紀伊山地の霊場と参詣道の一部なのだ」と実感できる。</p>			
〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕			
<p>・この学習の機会がなければ、「世界遺産」について考えることもなかった子どもたちも、たくさんいたかも知れない。それは、折角自分たちの住む和歌山県にある財産を知らずに育つということであろう。本当に貴重な体験をさせていただいたと感謝しています。</p> <p>・次の世代を担う子どもたちが世界に目を向ける一つの貴重な学習であると、改めて感じました。</p>			

## 様式 2

平成 28 年度 「次世代育成事業」における学習記録

[概要報告書 学習記録・活動写真]

### 「世界遺産体験学習」

11月15日火曜日に世界遺産の熊野古道に行きました。熊野古道は田辺市にあったので、バスで2時間30分もかかりました。はじめは熊野本宮館に行きました。熊野本宮館で世界遺産のことを教えてくれました。私は、熊野古道全部の道が世界遺産だと思っていたけれど、車の通れる道にしたり、道を変えたりして、一部が世界遺産ではないと聞いてとてもびっくりしました。ほかにも、世界遺産が世界で1500個や世界遺産になっても世界遺産ではなくなる可能性もある危機遺産があるなど、たくさんのことを教えてもらいました。

次に、弁当を食べて、熊野古道を歩きました。300キロメートルある中の4キロメートルを歩きました。歩きながら、世界遺産マスターの方が説明してくれました。歩き終わるととても疲れたので、これの何倍もの距離を昔の人が歩いていたと思うと、とてもすごいなあと思いました。熊野古道を歩いてとても疲れたけど、世界遺産について色々なことを知ることができたので、とても良い経験になりました。

### 「熊野古道へ行って」

15日に田辺へ熊野古道を歩きに行きました。

最初に、世界遺産や熊野古道について学びました。世界遺産は自然遺産、文化遺産、複合遺産の三つに分けられていること、世界遺産じゃなくなってしまう場所が2件あること、熊野古道は文化遺産だということ、他にもたくさんを教えてくださいました。知らないことばかりですごく面白かったです。

次に、お昼を食べました。熊野古道を歩いて、山の上で食べたらもっとおいしだろうなあと思いました。

そして、熊野古道の坂道を上りました。坂道なのでとても疲れました。世界遺産マスターの方が、王子跡について、井戸のこと、上からの景色、二礼二拍手一礼についてなど、くわしく教えてくださいました。「大斎原」という大きな鳥居は、ビル10階建てということに驚きました。

今度は、教えてもらったことを私が家族に案内しながら教えたいです。

### 「世界遺産体験学習をして」

11月15日火曜日に田辺市で世界遺産について学びました。まず、7時20分学校出発でバスが出発しました。最初は、熊野本宮館という所で世界遺産の話の話を聞きました。そこでは、世界遺産は3種類もあるということを知りました。それは、世界文化遺産、自然遺産、複合遺産というもので、熊野古道は、文化遺産に登録されています。そのほかに、世界遺産登録の基準は、10個もあるなど、色々教えて下さいました。昼食をはさんで、次は、実際に熊野古道を歩きました。4キロくらい歩きました。世界遺産マスターという人に説明を聞きながら中辺路という道を歩きました。道の途中には、3つの屋根が重なっている店や紀三井寺とほってある石など、色々ありました。

そして、熊野本宮大社に行きました。ぼくは、「やたがらす」と「本宮大社」に手を合わせました。その後に、大鳥居のある大斎原に行きました。そこは、もともと本宮大社があった場所です。「昔の人は、あんな長い道を歩いて本宮大社へ行くなんて、それほど、本宮大社はすごいところなんだな」と思いました。ぼくたちは、熊野古道のほんの少ししか歩いていないのに、本当に昔の人はすごいなあと思いました。世界遺産のことが色々知れてよかったなあと思いました。

### 「世界遺産体験 ー熊野古道ー」

11月15日、田辺市の熊野古道を歩きました。4、5キロメートル歩きました。2時間半歩きました。森の中で、背の高い木がたくさんあって、こけなどもあって、とてもきれいでした。

熊野古道では、普通に歩いていても、気がつかないことを教えていただいたり、きれいな景色を見ることができました。大鳥居は、山から見ても、近くで見ても、大きかったです。

また、昔の人は、京都の都から300キロメートルも歩いていたのもびっくりしたし、2週間で行きは行き、帰りは1週間で帰るのはとても疲れるだろうなと思いました。疲れたけれど楽しかったです。

### (活動写真)

